

ネットワークアンケート ④5

糖尿病ネットワークを通して
医療スタッフに聞きました

Q. 貴院へ通院中の糖尿病患者さんに、 眼科・歯科への定期受診を促していますか？

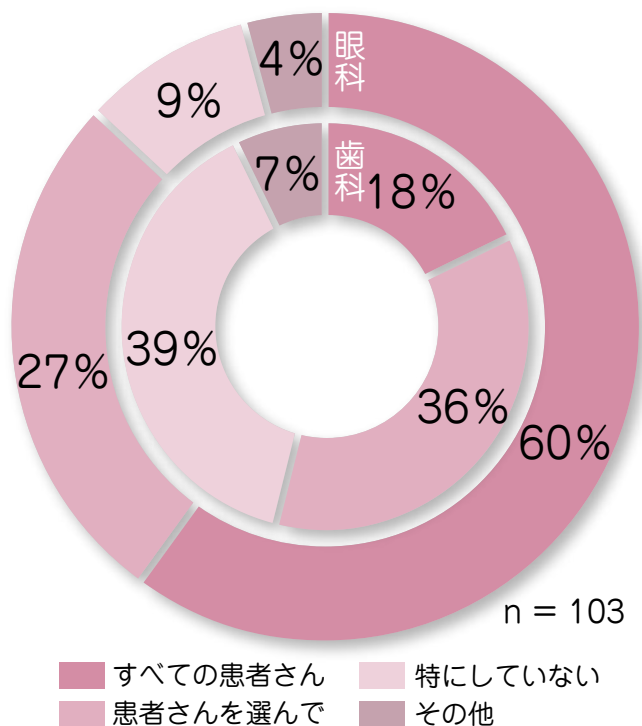
糖尿病3大合併症である網膜症や腎症、神経障害、そして歯周病は気づきにくいことから、早期発見のために定期的な検査が推奨されています。なかでも眼科や歯科は、糖尿病連携手帳などで情報共有できるようになっているので積極的に情報連携を行いたいところです。今回は、眼科・歯科の定期検査と情報連携についてうかがいました。

[回答数：医療スタッフ103名（医師15、看護師43、管理栄養士24、薬剤師11、臨床検査技師4、その他6など。うち日本糖尿病療養指導士36、糖尿病看護認定看護師6）、患者さんやその家族430名（病態/1型糖尿病144、2型糖尿病274、境界型8、その他4、治療内容/食事療法302、運動療法261、経口薬216、注射薬23、インスリン療法242/重複回答有）]

「すべての患者さんへ促している」と答えた方は眼科で6割、歯科で2割弱でした。特に歯科へ「特に促していない」が4割と眼科の4倍。また、「患者さんを選んで」とした人に、その条件を聞いたところ、回答が多い順に眼科へは「罹病期間が長い患者さん」89%、「血糖管理が不良の患者さん」78%、「網膜症がある患者さん」71%。歯科へは「歯周病がありそうな患者さん」76%、「血糖管理が不良の患者さん」70%、「罹病期間が長い患者さん」49%でした。

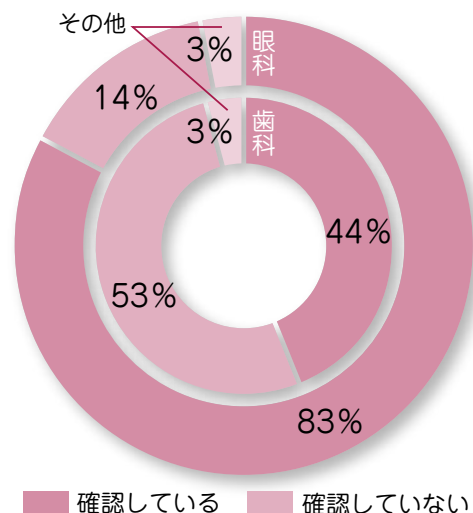
さらに、患者さんが実際に受診したかに

ついでの確認は、眼科では83%、歯科では44%で、確認方法は「患者さんとの会話、口頭で」が8割前後と両科トップを占めました。このような関連他科との情報連携推進の一環として、眼科や歯科での検査結果などを書き込むスペースがある「糖尿病連携手帳」（発行：日本糖尿病協会）を活用したいところですが、眼科で43%、歯科で21%と積極的には活用されていないようでした。自由記述では、「歯科健診についてはほ



とんど話題に上がらないのが現状’、‘手帳形式は記入が面倒、時間もない’、‘領域の枠を越えた専用ネットワークでカルテを共有できるよう行政に働きかけてほしい’、‘定期検査を受診しなければ保険点数が取れない等の方策が必須では?’ など、様々なご意見をいただきました。

Q. 患者さんが実際に受診したかどうかを確認していますか？ (n=103)



Q. 患者さんの受診をどのように確認していますか？ (n=143 複数回答可)

